2020 年度·事業報告

一般社団法人横浜みなとみらい21

# 2020年度 事業実施状況

2020年4月1日から2021年3月31日まで

### 1 事業構成

- (1) エリアマネジメント推進事業
- (2) 横浜都心電波対策事業

p.22

(3) 広告・イベントスペース等運用事業 p.23

ア 街づくり調整事業 p.5~

イ 環境対策事業 p.11~

ウ 文化・プロモーション事業 p.15~

エ 地域活性化推進事業 (その他) p.19~

### 2. 実施状況(総括)

- (1) エリアマネジメント推進事業
- ア 街づくり調整事業
  - 〇安全・安心な街づくり

「防災エリマネ推進委員会」を通じて地震対策の推進に取り組みました。「情報受伝達体制の強化」では「災害時情報ページ」を新設したほか、「災害時掲示板」の機能を向上させました。 帰宅困難者対策では、感染症対策や災害情報確認用QRコードを追加し、マップ面を最新内容に更新した「帰宅困難者支援ガイド 2021」を作成しました。 合同防災訓練では、新型コロナウイルスによる感染症拡大にも配慮した帰宅困難者の受け入れ訓練を実施しました。

### ○来街者の利便性・快適性向上に向けた街づくり

街づくりに関する調査として、来街者調査や進出企業調査を実施し、調査結果のとりまとめを実施しました。バス交通に関する地区内の要望や需要予測などを協議し、来年度以降に本格運行実験するための運行実験実行委員会を立ち上げ、<u>横浜市交通局等関係者と連携し、3月に「みなとみらいループバス」の運行実験を実施し</u>ました。

#### ○街づくりの誘導・調整、情報発信

「街づくり基本協定運営委員会」では、中央地区の各所で進む街区開発について の協議を進めました。

【街づくり行為を承認した街区】上半期:① 38,43,47,53,58,60・61

下半期: ② 32,44,55-1,③ 32,37,43,58,60•61,④ 44,53,55-1,58

#### ○新たなエリアマネジメント推進事業

「都市デザイン事業」に関しては、来年度以降の具体化に向けた検討を進めたほか、 新たな空間活用の促進及びあり方の検討を目的として、産官学連携により、公園と民 地を一体的に活用した野外オフィスの設置実験の実施に向けて準備を進めました。

「都市観光・MICE等取組戦略」「ミュージックシティ構想」では、検討の成果をアクションプランやロードマップ等にまとめました。

#### イ 環境対策事業

### ○スマートなまちづくりの実現に向けた取組

### ◇みなとみらい 2050 プロジェクト等の推進

スマートモビリティ検討調査を進めて、当地区を含む都心臨海部が目標とする将来の交通環境や取組方針とロードマップを取りまとめ、検討会の成果をまとめた冊子を発行しました。みなとみらいの水辺の魅力と課題をテーマにオンラインでの環境セミナーとワークショップを実施しました。また「地球環境未来都市研究会」に協力して、クイーンモールにおける人流測定実測によるリアルデータ配信を国交省HPで配信しました。

### ◇水環境向上及び生物多様性に関する取組

夏季のアマモ消失原因などの確認会を開催し、汽車道でのアマモ育成は取止めることを検討していましたが、3月の観測時に生残個体が1株確認できたため、国土 交通省実施の臨港パーク潮入の池前の藻場と連携し、アマモ観察を継続することとしました。

### ◇「緑・花」推進に関する取組

桜木町駅前広場において季節感を演出する植栽を実施しました。

### 〇環境意識の啓発に向けた取組

新型コロナウイルスの影響により4月から中止していた桜木町駅前広場、新港地区、グランモール公園での清掃活動を、10月から再開しました(緊急事態宣言により1月以降は再び中止)。

#### ウ 文化・プロモーション事業

### 〇まちの魅力発信

主に外国人を対象とした(英会話による)「オンラインツアー」及び「リアルツアー」を実施したほか、国内来街者向け街頭アンケートと横浜来訪経験外国人向けの WEB アンケートを実施しました。エリマネコンテンツでは、神奈川大学学長とのトップ対談を実施したほか、「コーエーテクモゲームス本社」の当地区への進出背景を取材し、公式ウェブサイトで紹介しました。ミレア別冊『グルメガイドブック』の発行と『ウェブサイト』の運営を、SDG s の取組と連携して実施しました。

地区プロモーションでは、ヨコハマ夜景ウェブサイトを制作し、地区内の夜景情報や商業施設情報を掲載しました。

### ○賑わいの創出

公共空間の活用では、市との調整を担い、オープンカフェの道路占用料、公園施設設置使用料、オープンカフェ負担金の免除を実施しました。7月に再開した「みなとみらい STREET MUSIC」では、NHKの番組内で演奏の様子が放送されました。そのほか『ヨコハマミライト~みらいを照らす、光のまち~』『TOWERS Milight~

みなとみらい 21 オフィス全館ライトアップ~』等の取組を通じて、街の賑わい創 出に貢献しました。

### エ 地域活性化推進事業(その他事業)

「オープンイノベーション推進」では、「イノベーション都市・横浜推進協議会(仮称)」の設立に向けて検討会を開催するとともに、地区内外の企業や就業者のニーズを踏まえながら、ビジョン、体制、活動内容案を策定し、3月の「横浜未来機構」の設立につながりました。

また、大学発ベンチャー企業創出に向けた活動への支援を行う文部科学省事業(SCORE大学推進型)に、4大学とともに応募し採択されました。

ビジネスエコシステム形成プログラム(MAP)では、実行委員会に参画し、採 択事業と地区内の企業・団体、イベントとの連携を実現しました。

みなとみらいかもめ SCHOOL は、新型コロナウイルスの影響もありましたが、新しい講座の開講やオンライン講座の試験導入などにより春・秋学期計8講座を実施しました。

そのほか、会員や施設設置宛てに地区内情報や新型コロナウイルス関係の情報を 配信、普通救命講習を2回実施しました。

#### (2) 横浜都心電波対策事業

テレビ電波障害受信状況調査(37街区事前、43,47①街区事後、58街区中間、60・ 61街区事前)を実施しました。

### (3) 広告・イベントスペース等運用事業

クイーンズスクエア横浜内の公共空間における広告・イベントスペースの運用を行いました。新型コロナウイルスの影響により利用率が伸びない状況でしたので、空き 状況となった日程を過去の利用者に伝える等の営業に努めました。

### 3. 会員・役員・職員の状況 (2021年3月31日現在)

**〇会員** 正会員:91 団体 準会員:3 団体 賛助会員:47 団体(計 141 団体)

**〇役員** 理事:11人 監事:2人

〇職員 20人

#### 4. 基金の状況

2億8,500万円

#### 5. 社員総会・理事会

#### 〇6月8日(月)2020年度第1回理事会

第1号議案 2019年度事業報告及び決算の件

第2号議案 2019年度公益目的支出計画実施報告書の件

第3号議案 社員総会招集の件

第4号議案 社員総会の付議事項の件

第5号議案 正会員の入会の件

### O6月24日(水)第12回定時社員総会

第1号議案 2019年度決算計算書類の件

第2号議案 理事選任の件

第3号議案 監事選任の件

報告事項1 2019年度事業報告の件

報告事項 2 2019 年度公益目的支出計画実施報告書の件

報告事項3 2020年度事業計画及び収支予算の件

### 〇6月24日(水)2020年度第2回理事会

第1号議案 代表理事選任の件

第2号議案 執行理事及び専務理事選定の件

第3号議案 正会員の入会の件

### 〇11月24日(水)2020年度第3回理事会

報告事項1 2020年度上半期 事業及び予算の執行状況の件

報告事項 2 賛助会員の退会の件

報告事項3 エリアマネジメントのあり方検討に基づく取組について

### 〇3月24日(水)2020年度第4回理事会

第1号議案 2021年度事業計画及び収支予算の件

第2号議案 定款第35条に関する取引の承認の件

報告事項1 2020年度事業執行状況の件

報告事項 2 特定寄附及び公益信託の経過報告の件

報告事項3 会員の入退会の件

街づくり調整事業 29,200 千円

街の安心と安全、来街者にとっての利便性や快適性の向上、その他各種調整や情報発信を 行い、時代の変化に適応した街観覧づくりを進めていきます。

# ○ 安全・安心な街づくり

### ◇みなとみらい21地区における地震対策の推進

8,500 千円

【 企画調整部・総務部 】

### 【実施状況】

## 1. みなとみらい21地区防災エリマネ推進委員会

当地区の災害時情報受伝達体制の強化、帰宅困難者対策と一斉帰宅抑制の推進、防災意識の啓発、などについて感染症対策の条件も加えて検討を進め、風水害時等の基本対応方針を加えるなど、昨今の時代背景を反映して地区全体の防災対策を推進した。

- 第1回委員会(7月3日・書面開催)
- ・第2回委員会(9月15日)
- 第3回委員会(12月4日)
- 第4回委員会(3月12日・オンライン併用)

#### 2. 情報受伝達体制の強化

- ・地区内全施設と行政機関を結ぶ情報受伝達ツールとして設置した「会員用災害時掲示板」 (当社ホームページ内)の改良案と来街者・就業者等一般向けの防災情報発信方法の検 討を行い、その対応方針をとりまとめた(9月15日)。
- ・当社ホームページ内「会員用災害時掲示板」の機能向上と、来街者・就業者等一般向け の「災害時情報ページ」を新設した(1月)。
- ・「会員用災害時掲示板」、FAX、E メールを使用した情報受伝達訓練を、合同防災訓練と 連動して実施した(2月)。
- ・複数の伝達手段確保のための I P無線機試験導入計画と方針を確定し(12月)、合同防災訓練時には I P無線機による情報受伝達訓練を先行実施したうえで、関係施設と調整して I P無線機試験導入を先行的に開始した(3月)。

#### 3. 帰宅困難者対策と一斉帰宅抑制の推進

・来街者・就業者等一般向けの「帰宅 困難者支援ガイド2020」(防災マップ) は、昨年度末に完成した4カ国語版を 発行、中・韓国語版は初めて配布した (4月)。更に2021年版は、感染症対 策や災害情報確認用QRコードを追加し マップ面を最新内容に更新して作成した (3月)。



- ・「帰宅困難者一時滞在施設登録制度」の登録と運用の促進を図るため、新規登録施設を対象に、感染症対策も配慮した施設運営を体験する簡易図上訓練を実施した(9月15日、12月4日)。
  - 更に登録施設の拡充に向け、会員及び地区内施設に対して改めて登録依頼を行うことで、1施設にご登録いただいた(3月)。
- ・当地区の防災関係者のマニュアルである「災害時行動ガイド」について、情報受伝達

編、帰宅困難者対策編及び自助対策編に、今回は風水害時基本対応と感染症対策基本 条件等を追加するなどの充実を図り、更新・発行した(3月)。

- 4. 防災講演会、みなとみらい21地区合同防災訓練の実施
  - 防災講演会を開催した【参加者24名・ポノラインを含む】(2月2日)。
  - ・「合同防災訓練」を実施した。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「帰宅困難者受 入訓練」に特化して開催。 参加者と訓練担当者合わせて 103 人が参加(2月10日)。

# ○ 来街者の利便性・快適性向上に向けた街づくり

### ◇みなとみらい21街づくり状況の各種調査

1,500 千円

### 【企画調整部】

#### 【実施状況】

#### 来街者調査及び進出企業調査

地区内の来街者数や企業数の実態を把握し、街づくりの進捗状況に応じて発生する課題やエリマネ活動の効果を把握するため、調査の実施に向け横浜市と調整した(5~9月)。「来街者調査」及び「進出企業調査」に着手、現地調査等を実施し(10月~12月)、調査結果のとりまとめを実施した(3月)。

## ◇みなとみらい21地区における交通対策等の検討

3.000 千円

### 【企画調整部】

#### 【実施状況】

### 1. 当地区内の新バスルート検討

地区内各施設のバス交通に関する要望や需要予測などの協議を横浜市交通局と連携して行い、交通局が主催する検討会において、桜木町と横浜両駅を結ぶ地区内の新ルートによる運行実験計画をとりまとめた。12 月には関係者と運行実験実行委員会を立ち上げて来年度以降の本格運行実現に向けた実施計画を策定し、更に、横浜市交通局及び関係者と連携して協議や調整を進め、「みなとみらいループバス」の運行実験を実施した(3月13日~26日)。

#### 2. 交通量調査の延期対応

歩行者交通処理計画とデッキ整備の必要性検討のために予定していた歩行者及び自動車交通量調査については、新型コロナウイルス対策の影響で、大規模集客施設のイベントやコンサートなどが中止・延期・代替実施等となり、今年度の実施はその有効性が低いため、来年度以降の実施に向けた準備を行った。

### ◇駐車場案内システム協議会の運営

### 【企画調整部】

#### 【実施状況】

駐車場案内システムの運用を図るため、総会を開催した。

- ○第26回総会(7月21日)
- ・2019 年度事業報告及び決算(案) について
- ・2020年度事業計画及び予算(案)について

- ・役員選任について
- •報告事項

システム運営委託会社からの 2019 年度報告書について

# ○ 街づくりの誘導・調整、情報発信

## ◇みなとみらい21街づくり基本協定の運営【中央地区】

4,000 千円

### 【企画調整部】

### 【実施状況】

- 1.みなとみらい21街づくり基本協定運営委員会
  - ・中央地区開発計画及び街づくり基本協定等の改定について審議した。
    - ○第1回委員会(7月30日:書面開催)にて、下記案件について協議・承認した。
      - ・38 街区 (仮称)首都高速道路(株)神奈川局開発計画 アクティビティフロア・コモンスペースのしつらえ・内容、 外構・植栽計画、サイン計画、パブリックアートについて
      - ・43 街区 神奈川大学みなとみらいキャンパス サイン計画 (ビルサイン除く) について
      - 47街区村田製作所みなとみらいイノベーションセンター パブリックアートについて
      - ・53 街区 みなとみらい21中央地区53街区開発事業計画 工事計画について
      - ・58 街区 横濱ゲートタワープロジェクト

コージェネレーションシステムの導入について

- ・60・61 街区 Kアリーナ・プロジェクト 仮囲いデザインについて
- ○第2回委員会(10月29日:書面開催)にて、下記案件について協議・承認した。
  - ・32 街区 けいゆう病院別棟 (調剤薬局併設) 増設工事計画 街づくり行為に係る行政手続きの開始について
  - ・44 街区 1 画地 (仮称)MM 2 1 地区 4 4 街区開発計画 色彩・外装計画 (一部) について
  - 55-1街区 (仮称) LG Global R&D Center 建設プロジェクト
     サイン計画 (ビルサイン)、夜間照明計画 (一部/建物) について
- ○第3回委員会(10月29日:書面開催)にて、下記案件について協議・承認した。
  - ・32 街区 けいゆう病院薬局棟増設工事計画 工事計画、仮囲いデザインについて
  - ・37 街区(仮称) みなとみらい2 1 中央地区 37 街区開発計画 色彩・外装計画、コージェネレーションシステムの導入について
  - ・43 街区 神奈川大学みなとみらいキャンパスアクティビティフロア・コモンスペースのしつらえ・内容について
  - ・58 街区 横濱ゲートタワープロジェクトアクティビティフロア・コモンスペースのしつらえ・内容、外構・植栽計画について
  - ・60・61 街区 Kアリーナ・プロジェクト 色彩・外装計画 (アリーナ棟) について

- ○第4回委員会(3月25日:書面開催)にて、下記案件について協議・承認した。
  - 44 街区 1 画地 (仮称) MM 2 1 地区 4 4 街区開発計画 色彩・外装計画(一部除く)、サイン計画(ビルサイン)について
  - ・53 街区 みなとみらい21中央地区53街区開発事業計画 仮囲いデザインについて
  - ・55-1 街区 (仮称) LG Global R&D Center 建設プロジェクト コモンスペースのしつらえ・内容、外構・植栽計画、 夜間照明計画(一部/外構他)、サイン計画(ビルサイン除く)について
  - ・58 街区 横濱ゲートタワープロジェクト サイン計画について

### 2. みなとみらい21街づくり基本協定運営委員会 専門部会

- ・街づくり基本協定及び関連細則に関する課題について討議・検討を実施した。
- · 6回開催(6月25日、8月27日、9月24日、12月24日、1月28日、2月25日)。

### ■3月末件数実績

(1)承認通知書発行件数

(4)屋外広告物(バス停、パシフィコ横浜、その他)

・街づくり行為 18 件

(2)暫定土地利用 • 申請件数

2 件

・届出件数

26 件

43 件

(3) 屋外広告物

(テナントサイン等)

• 申請件数 1 件

・届出件数

・バス停広告

116件

・動く歩道横断幕

10 件

動く歩道フラッグ

12件

クイーンズ橋フラッグ

0 件 4 件

(街灯フラッグ、MM駅連絡地下通路広告、案内広告等)

### ◇「みなとみらい21インフォメーション」等の改訂

2.000 千円

#### 【企画調整部】

### 【実施状況】

その他

企業誘致や視察対応等のために作成している「みなとみらい21インフォメーション」に ついて、今年度の構成内容を関係者と調整し、発行した(3月)。

## ◇街づくり調整委員会(部会)の開催

100 千円

### 【 企画調整部 】

#### 【実施状況】

- 第1回街づくり調整委員会(11月12日)
  - ・2020年度上半期の事業執行状況及び今後の予定について
- 第2回街づくり調整委員会(3月16日)
  - ・2021 年度事業計画 (案) について

### ◇全国エリアマネジメントネットワークへの参画

400 千円

【 企画調整部・事業推進部・総務部 】

### 【実施状況】

全国のエリアマネジメント団体との交流及び情報収集のため、全国エリアマネジメントネットワーク(2016年度発足)の総会とエリアマネジメントシンポジウムに参画した。

- ·第5期総会(9月25日)
- ・「エリアマネジメントシンポジウム in 竹芝」(9月25日)

テーマ: 『地域経済の再興とエリアの力』

# ○ みなとみらい21地区の土地の公募業務

◇土地公募業務
2,000 千円

【企画調整部】

## 【実施状況】

- ・前年度に公募があった市有地「62街区」に関する提案2件に関して、調査分析を行い、 報告書を横浜市に提出した(5月)。
- ・「52 街区」の開発事業者公募業務を横浜市から受託し、提案内容の調査分析結果について横浜市に報告した(3月)。

# ○ 新たなエリアマネジメント推進事業

◇「新たなエリアマネジメント」推進事業

【新規】 7,700 千円

【 総務部・企画調整部・事業推進部 】

### 【実施状況】

#### 1.「都市デザイン」事業

当地区のさらなる活性化や魅力アップを目指し、コモンスペース・アクティビティフロアや公共的空間の活用のあり方について、街づくり基本協定専門部会で議論をしながら、地区内企業等へのアンケート及びヒアリングにより、課題とニーズの把握を行い(~12月)、対応策について検討を行った(~3月)。

また、新たな空間活用の促進及びあり方の検討を目的とした実証実験として、産官学の連携により、公園及び民地(有効空地)を一体的に活用した野外オフィスの設置実験の実施について準備を進めた(12~3月)。

#### 2. 都市観光·MICE等取組戦略

行政・地区内有識者を交えて、全3回の検討会を実施して、「都市観光・MICE 等取組 戦略」に関する報告書を取りまとめた。課題解決のためのリーディングプロジェクトのイ メージも共有し、都市観光 MICE 推進会議(仮称)の設立に向けた準備を進めた。

### 3. ミュージックシティ構想

地区内における音楽施設の集積を踏まえ、施設間の連携による様々な音楽の展開や、情報発信を戦略的に行う「ミュージックシティ」の実現に向けて、関係者による検討会(10月30日、2月15日、3月22日)を実施し、アクションプラン及びロードマップを作成した。



### 4. 「新たなエリアマネジメント」レビュー会議の実施

第1回レビュー会議により、上半期に検討・実施した各アクションプランの進捗を共有した。それぞれの取組みを連携させることの重要性や、新型コロナ等の現状を踏まえた各取組みの意義等を確認した(11月10日)。

第2回レビュー会議を実施し、下半期及び通期に検討・実施した各アクションプランの 進捗管理等を行った(3月8日)。 環境対策事業 30,600 千円

みなとみらい21地区における業務・商業活動等を通じて、地球温暖化対策、循環型社会 形成、生物多様性といったさまざまな環境問題に関し、ハード面からソフト面まで幅広く多 様な活動を展開し、スマートなまちづくりの実現に向けた取組を推進します。

# ○ スマートなまちづくりの実現に向けた取組

## ◇みなとみらい 2050 プロジェクト等の推進

7,500 千円

【企画調整部】

#### 【実施状況】

#### 1. みなとみらい 2050 プロジェクトの推進

### ・スマートモビリティの検討

エリアマネジメントのあり方検討のアクションプランとして昨年度末に現状調査から着手した「スマートモビリティ検討調査」については、検討会を3回開催して(9月23日、11月30日、12月18日)、当地区を含む横浜都心臨海部が目標とする将来の交通環境や取組方針とロードマップなどを取りまとめ、検討会の成果をまとめた冊子を発行した(3月)。

### ・2つのモビリティ (移動体) による走行実証実験

「横浜市パーソナルモビリティツアー実証実験 推進協議会」に参画し、公募による有料屋外公道走 行実証実験を、コースと発着場所を一部変更して再 開した(6月~)。エコモビリティについても「ヨコ ハマ未来モビリティショーケース推進協議会」に参 画して、地区内でのシェアリングサービスの実証実 験を開始した(9月~)。



〈 公道走行実証実験状況〉

#### 情報発信拠点の具体化の検討

みなとみらい 2050 プロジェクト・アクションプランに掲げられた当地区の情報発信拠点 (フューチャーセンター等) の具体化に向け、昨年度迄の検討結果やネットワークを活かし、WITH コロナ下で実施可能なワークショップ開催の検討を実施した (7月~)。その後、ワークショップ開催を取りやめ、代わりに有識者による検討会を実施し、今後の進め方について提言を受けた(3月)。

#### 5Gを活用したスマートな街づくり

モビリティや各種発信など5Gを活用することで、街全体で効率的・効果的な展開を図ることを目指して、実証実験環境の構築等に取組んだ。5Gを活用したスマートな街づくりに資する「みなとみらい5Gカンファレンス」の開催を支援した(3月)。総務省の5G活用に関する調査事業に協力をした(3月)。

#### ・スマートシティの推進

昨年度「重点事業化促進プロジェクト<sup>\*\*</sup>」に選ばれたスマートシティモデル事業(国土 交通省)は、横浜市や関係民間企業などと連携・調整して実行計画策定に向けた方針 や体制を検討した(~3月)。 ※国が重点的に支援を実施することで事業の熟度を高め、早期の事業化を促進していく事業。

#### ・みなとみらいスマートフェスティバル

実行委員会に参画して準備を進めていたが、新型コロナウイルスの影響により中止 となったため、その経緯や状況を地区内関係者に周知した。

#### ・環境セミナーの開催

環境対策部会(9月29日、11月5日)で議論した環境対策事業の見直し方針などに基づき、海と港に面した当地区の魅力を実際に確認しながら今後のロードマップに繋げるため、オンラインによる環境セミナーを開催し(1月20日)、更に地区内の水辺を巡る現地確認後にワークショップを実施した(2月12日)。

### 2. 地球環境未来都市研究会への協力

横浜国立大学を中心にみなとみらい21地区を主フィールドに最先端の研究を行う 産学官連携のコンソーシアム「地球環境未来都市研究会」に参画し、新型コロナウイル ス影響下におけるクイーンモールとグランモール公園での人流・温熱環境のモデル測定 などの実施協力を行った(~9月)。

3 D都市モデル事業(国土交通省)は、横浜市や関係者などと連携して本コンソーシアムでの実績を活かしながら、クイーンモールにおける人流測定実測を行い国交省HPでのリアルタイムデータ配信による状況公開を実施し、クイーンモールにおける人流測定及び国交省HPでの公開の状況に基づき、今後の展開方法を検討した(~3月)。

### ◇水環境向上及び生物多様性に関する取組

7.500 千円

#### 【 企画調整部·事業推進部 】

#### 【実施状況】

2018年に沖に拡張した汽車道護岸「実験場」において、「自立するアマモ場造成」と「適切な情報発信」などを実施して、「水環境向上・生物多様性」の取組と今後の方針検討を、以下の通り推進した。

#### 1. アマモ場造成等

実験場のアマモ定期的な観察や小型牡蠣殻礁内の海の生物観測調査と、夏期にアマモが消失する原因を探るための測定調査(7~9月)を行ったが、9月にアマモの消失を確認した。関係者や専門家の協力により実施した夏季のアマモが消失原因他の確認会(12月15日)の結果などより、汽車道でのアマモ育成は取止める方針を検討していた。しかし、3月の観測時に生残個体が1株確認できたため、国土交通省が実施している臨港パーク潮入の池前の藻場(2019年11月末より共用)と連携し、アマモ観察を継続することとした。

#### 2. 適切で効果的な情報発信

昨年冬から実施している取組を中心に汽車道でのアマモ植付けと育成状況や海中生物の観察等の実証実験内容をとりまとめて、当社団ホームページに水中の写真や動画を掲載したインターネット配信を6回実施した。

## ◇『緑・花』推進に関する取組

9,000 千円

【 企画調整部·事業推進部 】

### 【実施状況】

#### 1. 「ガーデンネックレス横浜」との連携

・ガーデンネックレス横浜実行委員会と連携し準備した「みなとみらい GARDEN LIFE2020」 (花き品評会や品評会出品花苗を活用した会場装飾など)は新型コロナウイルスの影響で中止となった。

### 2. 「緑・花」の推進

- ・桜木町駅前広場において季節感を演出する植栽 (6月、7月、9月、12月、3月)を実施した。
- ・地区内の「緑・花」の充実に向け、植栽場所や方法の検討を行った。



# ○ 環境意識の啓発に向けた取組

## ◇身近なエコ活動の実施、検討

6.500 千円

【 企画調整部・事業推進部 】

### 【実施状況】

#### 1. 身近なエコ活動の検討

- 環境対策事業の方針検討で、地区内関係者等と協議を実施する(9月~)。
- ・環境対策事業の取組とアクションプラン内での策定(2月)。
- 2. アースアワー2021 (3月27日)

地球温暖化防止と環境保全に関する世界的な取組である「アースアワー2021」との連携として、横浜市とWWFジャパンが事務局を務める「EARTH HOUR 2021 in YOKOHAMA 実行委員会」にオブザーバーとして参加し、地区内施設へ消灯の呼びかけ等を行った(~3月)。

### ◇環境対策委員会(部会)の開催

100 千円

#### 【 企画調整部 】

#### 【実施状況】

#### 第1回環境対策委員会(11月12日)

- ・2020年度上半期の事業執行状況及び今後の予定について
- ・環境対策事業の見直しと取組方針について 横浜市の政策が「環境未来都市」から「SDGs 未来都市」に展開したことも踏まえて、 街区開発が最終段階を迎えた当地区に相応しい環境対策事業のあり方を環境対策部会 で検討し、その内容を委員会で報告した。

#### 第2回環境対策委員会(3月16日)

- ・2021 年度事業計画(案) について
- ・環境対策事業の見直しと取組方針について

## ◇地区内の清掃活動の実施

## 【 事業推進部 】

### 【実施状況】

桜木町駅前広場、新港地区、グランモール公園において、毎月定期的に清掃を実施する予定だったが、新型コロナウイルスの影響により4月から当面の間は中止とした。感染状況を注視しながら、10月から順次活動を再開したが、1月の緊急事態宣言により1月から再度活動を中止した(活動主体等は下表のとおり)。

活動主体	清掃箇所	実施日	参加者	制度
桜木町駅前広場活性化委員会	桜木町駅前広場	第1水曜日	約20名	ハマロード・サポーター
新港地区賑わいづくり委員会	運河パーク、カップヌー ドルミュージアムパー ク、赤レンガパーク	第2水曜日	約30名	みなとみどりサポーター
グランモール公園愛護会	グランモール公園	第3火曜日	約130名	公園愛護会

## 文化・プロモーション事業

60, 100 千円

みなとみらい21地区の状況や地区内で行われている活動等について、地区内外に情報発信すると共に、地区内の賑わい創出を促進し、街のイメージや魅力の向上を図ります。

# ○ まちの魅力発信

## ◇インバウンド(訪日外国人)対応

14,000 千円

### 【 事業推進部 】

### 【実施状況】

- ・みなとみらい21 Tourist Information Center (TIC) の新設に向けて、インフォメーションカウンターを設置し、実証実験を行った。( $\sim$ 8月。%うち4月4日 $\sim$ 6月2日は緊急事態宣言により臨時休業)
- ・外国人を対象とした(英会話による)「オンラインツアー」および「リアルツアー」を実施した。(12~2月。※うち1~2月は緊急事態宣言によりリアルツアーは中止)
- ・みなとみらい桜満喫オンラインツアーとして、地区内の春を紹介するオンラインツアーを 開催した。(3月)





<TICカウンター>

<オンラインツアー>

・訪日インバウンド受入体制整備としてホスピタリティ研修会(全2回予定)を予定するも、新型コロナウイルスの影響を受け中止としたため、代替措置として国内来街者向け街頭アンケート(2回)、横浜来訪経験外国人向け web アンケート(1回)を実施した。

全3回のアンケート結果を報告書として取りまとめ、会員にフィードバックを行った。

### ◇ウェブによる情報発信

9,200千円

#### 【事業推進部・企画調整部】

#### 【実施状況】

- ・公式ウェブサイトにて緊急事態宣言中(4月、翌1月)の各施設別店舗稼働状況を発信した。また、4月~6月には医療従事者への感謝の気持ちを示すため、横浜市と連携し、地区内各施設へのブルーライトアップ運動の呼びかけを行った。
- ・公式ウェブサイトの維持管理(常時)および、Google MAP との連携箇所の改修を行った。
- ・公式 Facebook にて地区内情報として、新規開業施設情報 (CIAL 桜木町 ANEX やぴあ MM、パシフィコノース等)を掲載した。
- ・エリマネサイトコンテンツ(全2回)の制作。第1回目(1月)は神奈川大学・兼子学長と YMM 理事長坂和とのトップ対談、第2回目(3月)はコーエーテクモゲームス本社のみ

なとみらいへの進出背景を取材、それぞれ公式ウェブサイトに掲載した。

### ◇広報誌による情報発信

6.000千円

### 【 事業推進部 】

### 【実施状況】

- ・フリーマガジン mirea の企画編集に参画し、年5回発行(初夏号(5月発行延期につき6月発行)9月号、11月号、1月号、3月号)した。
- ・新型コロナウイルスの影響により発行中止したため、7月号の代替措置としてmirea 別冊 『グルメガイドブック』の発行と『ウェブサイト』の運営を、SDG s の取組と連携して実施した。

### ◇PR活動の実施

1,800千円

### 【事業推進部】

### 【実施状況】

- ・リリース配信会社を通じ、以下の地区内情報を発信した。
  - (1) 『第1弾』 みなとみらいオンラインツアーのご案内
  - (2)『TOWERS Milight~みなとみらい21オフィス全館ライトアップ~』
  - (3) 『第2弾』 みなとみらいオンラインツアーのご案内

### ◇地区プロモーションの調整

6,000千円

### 【 事業推進部 】

#### 【実施状況】

- ・みなとみらい21SP (セールスプロモーション) 推進委員会に参画し、各施設の感染防止対策への取組を訴求することで来街者向けに安心安全をアピールするため、『感染防止対策訴求ポスター』の作成を企画した。
- ・当地区に新規進出した企業に対して当委員会に関する説明を個別に実施して、1 社が入会 予定となり、他の企業にも今後の入会を検討いただいた。
- ・冬プロモーションではヨコハマ夜景ウェブサイトを制作し、地区内の夜景情報や商業施設 情報を掲載。ウェブサイトは1年間の運用とし、年間を通して情報発信していく。
- ・みなとみらいSP推進委員会の新たな在り方の検討として、『在り方検討会』(全3回) および『諮問会議』(全2回) を実施した。

# ○ 賑わいの創出

### ◇公共空間の利活用

8,600 千円

### 【事業推進部】

### 【実施状況】

### 1. みなとみらい21公共空間活用委員会

総会、委員会を開催し、オープンカフェ実施に伴う公共空間の利用について審査した (8月開催、12月、3月は書面開催)。国による新型コロナウイルス感染症の影響を受ける飲食店等への緊急支援措置 (2021年3月まで道路占用料免除) に伴い、横浜市と調整し、当委員会のオープンカフェにおける道路占用料、公園施設設置使用料及びオープンカフェ負担金を 2021年3月まで免除とした。

#### 2. みなとみらい STREET MUSIC

ストリートミュージシャンに演奏の場を提供し、賑わい創出を図る事業「みなとみらい STREET MUSIC」は、新型コロナウイルスの影響により 2020 年3月から中止していたが、少しでも癒しとなる音楽を届ける意図で、感染拡大防止対策を講じたうえで7月から再開した。再開以降、毎月記者発表を行った結果、NHKの番組内で演奏の様子が放送された。

下半期も12月まで引き続き開催したが、再度の緊急 事態宣言により1月から3月前半まで中止した。

- ・出演者による自主運営ライブ (11回)
- ・出演者公募によるライブ (3回)

※中止した日程

自主運営ライブ : 4月22日、5月13日、5月27日、

6月10日、1月13日、1月27日、

2月10日、2月24日、3月10日

公募によるライブ:6月23日



<10月28日開催の様子>

### ◇地区イベントの開催

12, 100 千円

#### 【 事業推進部 】

#### 【実施状況】

・以下の取組を通じて、街の賑わい創出に貢献した。

『ヨコハマミライト〜みらいを照らす、光のまち〜』(11月 12日〜2月 14日) 『TOWERS Milight〜みなとみらい 2 1 オフィス全館ライトアップ〜』(12月 24日)

・桜木町駅前広場活性化委員会や新港地区賑わいづくり委員会、また、それぞれの実行委員会等への参画等を通じて、街に賑わいを創出に貢献してきたが、新型コロナウイルスの影響を受け、以下のイベントが中止となった。

『ヨコハマ大道芸 2020in みなとみらい 21』

『第13回みなとみらい大盆踊り』

『第13回宝島HALLOWEEN』

『桜木町駅前広場 DANCE FESTA』(延期)

『桜木町駅前広場和太鼓「彩」パフォーマンス』

# ○ その他

# ◇文化・プロモーション委員会等の運営

400 千円

### 【 事業推進部 】

## 【実施状況】

- 第1回文化・プロモーション委員会(10月29日)
  - ・インバウンドや都市観光・MICE 関連を中心とした意見交換を行った。
- 第2回文化・プロモーション委員会開催(3月23日)。
  - ・2020年度下期の事業報告および2021年度事業計画(案)を説明した。

## ◇ガイドマップの制作

1,500 千円

### 【 事業推進部 】

## 【実施状況】

- ・『みなとみらい21ガイドマップ』について、各施設等からの追加配付の依頼に対して、 都度送付した。
- ・新規開業施設情報等を反映した『みなとみらい21ガイドマップ(第 63 版)』を作成し、 各施設へ配布した。

### ◇歩行者案内地図サインの更新

500 千円

## 【 総務部 】

### 【実施状況】

新規施設のオープンに際して最新の情報とするため、地図の貼り替えによる更新作業を実施した (7月)。

### 地域活性化推進事業(その他)

12,600 千円

会員相互の交流を促進し、新たなネットワークやエリアマネジメント活動を活性化する ための取組を実施します。また、現在地区内に集積が進んでいるR&D施設等の連携を深め てオープンイノベーションの推進を図ることで、当地区の価値向上と活性化を促進する取組 を実施します。さらに、会員や就業者等の声を聴取し、エリアマネジメント活動に役立てて いきます。

## ◇地区内情報等の提供

100 千円

### 【 総務部 】

### 【実施状況】

会員への情報提供として会員・施設設置者連絡会宛てに、地区内情報や新型コロナウイルス関係の情報等をEメールにより配信した(会員宛:42件 施設設置者宛:14件)。

### ◇オープンイノベーション推進事業

5,000 千円

### 【企画調整部】

### 【実施状況】

#### 1. オープンイノベーションの推進

当地区の立地企業や横浜市都心臨海部全体のオープンイノベーションを推進するため、 みなとみらい地区に集積が進んでいるR&D施設等の連携等に取り組む中で、内閣府の「世界に伍するスタートアップ・エコシステム拠点形成戦略」の「グローバル拠点都市」に選定された(7月)。更に、関内地区のスタートアップ支援などとも連携して企業連携や情報発信等に取り組んだ。

「イノベーション都市・横浜 推進協議会(仮称)」の年度内設立を目指し、企業・有識者のヒアリング等の準備・調整を実施。検討会(11月30日、12月17日)を開催するとともに、調査により地区内外の企業や就業者のニーズを踏まえながら、ビジョン、体制、活動内容案を策定し、「横浜未来機構」としての設立につながった(3月)。また、大学発ベンチャー企業創出に向けた活動への支援を行う文部科学省事業(SCORE 大学推進型)に、横浜臨海都心部にキャンパス、サテライトキャンパスを立地する4大学とともに応募し採択された(3月)。

### 2. ビジネスエコシステム形成プログラム

実行委員会に参画し昨年度からの案件を継続支援するとともに、新たなイノベーション事業公募を実施。59件の応募の中から5件を採択(10月27日)。11月6日にキックオフイベントをオンラインで開催。実証実験や具体化に向けた調整を実施。採択事業と地区内の企業・団体、イベントとの連携を実現した。また、次年度を見据え5Gイベントを活用した発信を行った。

## ◇会員相互交流の機会の創出

3,500 千円

### 【 総務部 】

### 【実施状況】

- ・横浜銀行と共催している「みなとみらい大交流会」 新型コロナウイルスの影響により中止した(8月)。
- ・普通救命講習会を開催した。開催日と参加人数は次のとおり(11月17日 32人、11月26日 28人。 計 60人)

### ◇みなとみらいかもめ SCHOOL

4,000千円

## 【 事業推進部 】

## 【実施状況】

みなとみらいかもめ SCHOOL においては、感染防止対策を講じながら、秋学期では春学期に開催できなかった講座を中心に実施し、リピーターの受講や地区内及び周辺施設との交流につなげた。感染防止対策の一環として新たにオンライン講座を試験導入した。

1. 春学期(4月~6月)

【全14講座(1講座のみ開催) 受講者数:2人】

2. 秋学期(10月~11月)

【全7講座 受講者数:71人】



JAZZ Bar@横浜みなとみらいホール

### ※みなとみらいかもめ SCHOOL



就業後の時間がより充実したものになることを目指した、 みなとみらい 21 地区で働く方に向けた事業。

URL: https://kamomeschool.jp/

## <参考: 2020 年春学期講座内容>

かもめスクール 講座名					
01 みなとみらいの誕生 〜戦後横浜の都市づくり構想〜	08 「みなとみらいで繋がる」五感セラピー講座  ・天然アロマで春のセルフケア  ・パステル・ワークショップ				
02 「都市デザイン」って何!? ——プロムナード編—	09 S/PARK 施設体験ツアー(Museum、Beauty Bar、Café)				
03 コピー機分解ショー「こびざんまい」	10 メガロスルフレみなとみらいで「美活」体験!! - ハンモックエクササイズ体験 - トランポリンエクササイズ体験				
04 ニッサン パビリオン ~マーケティング秘話~	11 Workout Yoga〜簡単全身ボディメイク〜				
05 黄金町エリアの今と昔、 アートを通じたまちづくりの取組について	12 天空の茶室でお茶体験				
06 組織と個人の関係性 — ~何がモチベーションに影響するのか~	13 JAZZ Bar @ 横浜みなとみらいホール				
07 三菱みなとみらい技術館で学ぶ! 	14 「横浜にぎわい座」の落語会に行こう! 落語の楽しみ方、お教えします!				

※取り消し線の講座は、新型コロナウイルスの影響により中止したもの

# <参考:2020年秋学期講座内容>

かもめスクール 講 座 名						
01 「都市デザイン」って何!?プロムナード編	05 メガロスルフレみなとみらいで「美活」体験!! ・ハンモックエク <del>ササ</del> イズ体験 ・トランポリンエクササイズ体験					
02 ニッサン パビリオンで未来のモビリティ社会を 体感!	06 天空の茶室でお茶体験					
03 黄金町エリアの今と昔、 アートを通じたまちづくりの取組について* (オンライン講座)	07 JAZZ Bar @ 横浜みなとみらいホール					
04 リモートワークにおける生活リズムの不調と 対処法 (オンライン講座)	08 「横浜にぎわい座」の落語会に行こう! 落語の楽しみ方、お教えします!					

\*は最少催行数に達せず中止したもの

## 横浜都心電波対策事業

104, 100 千円

みなとみらい21地区および関連開発地区における建物建設に伴う周辺市街地のテレビ 電波障害対策を実施するとともに、「横浜都心電波対策協議会」の事務局の運営を行います。

### ◇電波障害対策事業の実施

99.600 千円

### 【企画調整部】

### 【実施状況】

#### 1. 新規開発に伴うテレビ電波障害シミュレーション

新規開発の建物におけるテレビ電波障害シミュレーションを実施し、調査・対策に必要な影響範囲図を作成した。

・60.61 街区(4~6月)

・53 街区(9~10月)

#### 2. テレビ電波障害対策

みなとみらい21中央地区58街区開発に伴うTV電波障害対策工事折衝業務を実施した(4月~)。

### 3. テレビ電波障害受信状況調査

新規開発に伴うテレビ電波障害影響範囲図により、開発状況に応じたテレビ電波受信状況を把握するため、現地における事前、事後調査を実施した。

- · 37 街区事前、43、47①街区事後調査(9月~)
- •58 街区中間、60.61 街区事前調査(11 月~2 月)

### ◇横浜都心電波対策協議会負担金

4,500 千円

#### 【 企画調整部 】

## 【実施状況】

#### 1. 総会・代表者会の開催

協議会の運営を図るため、代表者会を開催した。

- ○第36回代表者会(7月7日)
  - ・2019 年度事業報告及び決算・会計監査報告について
  - ・報告事項:2020年度事業計画及び予算について

#### 2. 運営委員会の開催

新たな街区開発による開発者負担金の確定や協議会の運営を図るため、運営委員会を開催した。

- ○第1回運営委員会(6月17日 書面開催)
  - ・みなとみらい21地区60.61街区「Kアリーナプロジェクトの件」電波障害対策 範囲策定調書(案)について
  - ・2020 年度運営委員会役員の選出について
  - ・第36回代表者会への付議事項について
- ○第2回運営委員会(3月18日)
  - ・みなとみらい21地区53街区「(仮称) みなとみらい21中央地区53街区開発事業計画の件」電波障害対策範囲策定調書(案)について
  - ・2021年度 事業計画及び予算について

# 広告・イベントスペース等の運用事業

73,000 千円

### ◇公有財産及び広告・イベントスペースの運用

73,000 千円

【 総務部 】

## 【実施状況】

クイーンズスクエア横浜内の公共空間における広告・イベントスペースの運用を行った。 新型コロナウイルスの影響により主催者がイベントを自粛する中で、キャンセルにより空き 状況となった日程を過去の利用者に伝える等の営業に努めたが、本年度上半期はほとんど利 用されない状況となった。下半期(2月まで)については、GO TO トラベル等の影響により 人通りが増え、イベントの開催が徐々に増えてきていたが、1月に緊急事態宣言が再度発出 されて以降は、3月に数件イベントが開催された以外はほとんど利用されない状況であっ た。